

レベル4自動運転バス

■車両の紹介

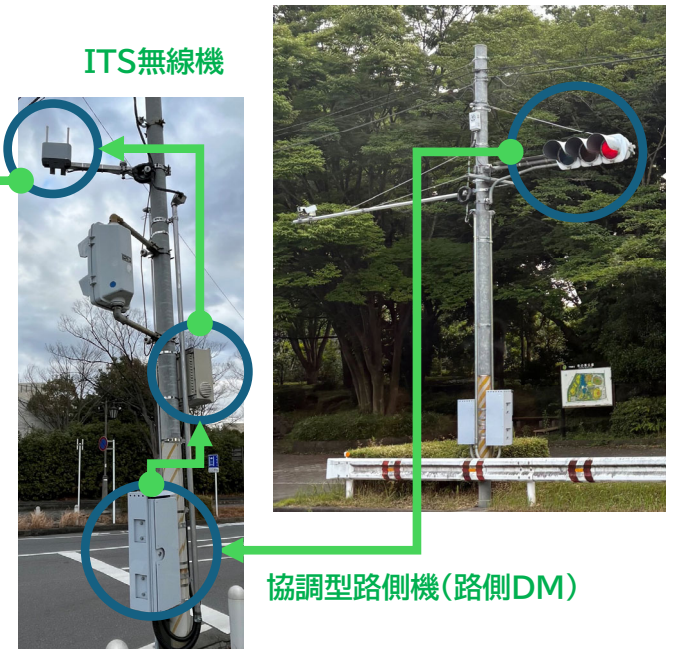
柏ITS推進協議会の長期営業運行実証実験では、2026年10月1日からレベル4自動運転機能を備えた新しいバス車両を運行しています。これまで走行していたレベル2自動運転バス車両と比べて、レベル4の自動運転を可能とするために新たなセンサが追加されています。
※下図で緑色の字で記載されているものが付かされているセンサです。



■自動運転バスとインフラ機器との連携



ルート上の交差点では信号の灯色とその残り時間の情報がバスに送信されます。レベル4自動運転バスはこの情報を利用して交差点への進入速度を調整します。

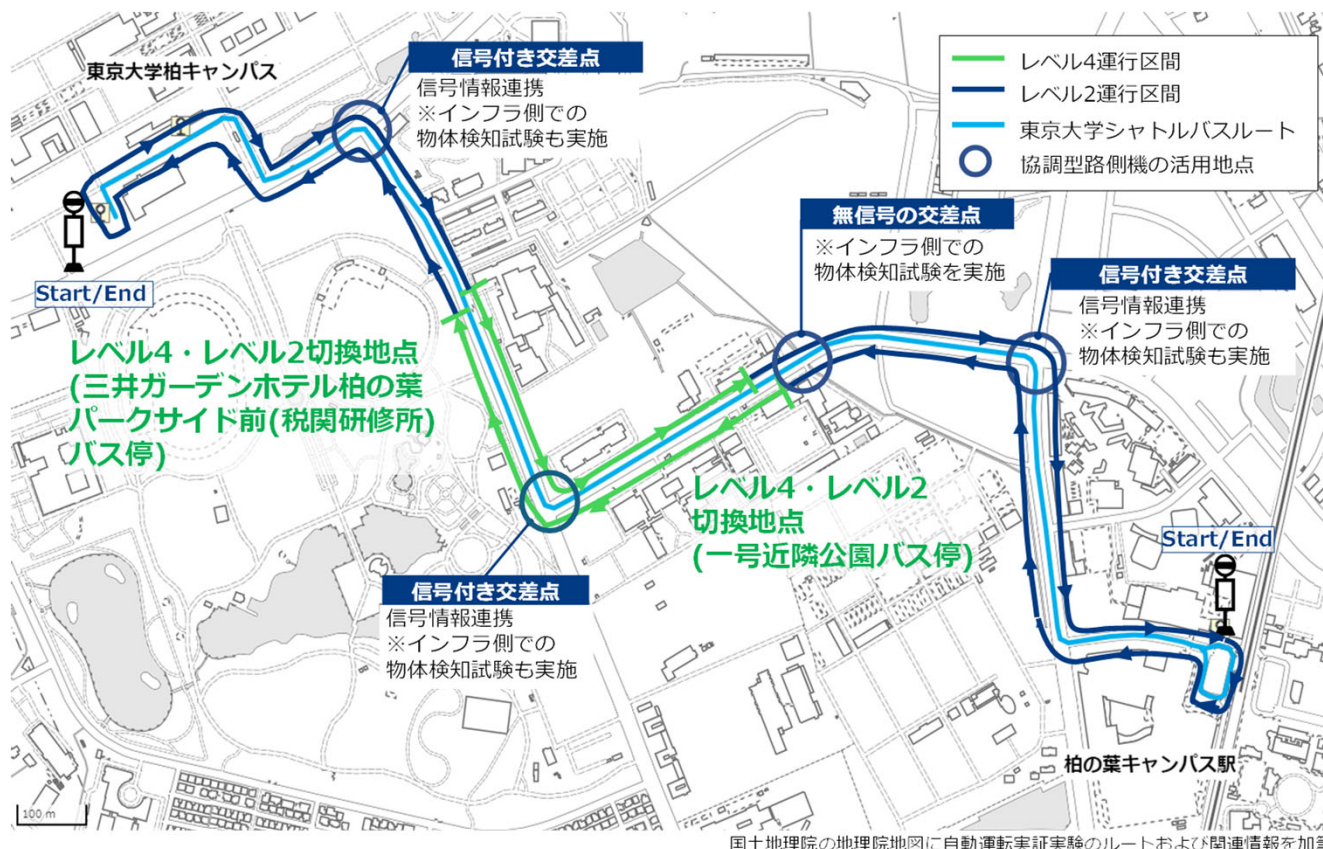


■自動運転について

ハンドル・アクセル・ブレーキが特定の条件下では自動で操作されます。自動運転レベルによって動作が異なります。

自動運転レベル	運転の主体	自動運転ができる条件	自動運転ができないとき
レベル4	自動運転システム (自動運行装置)	走行環境条件(ODD) の範囲内に限る。	リスクが最小となるよう行 動し停車(MRM)する。
レベル2	ドライバー	ドライバーの運転を 支援するとき。	ドライバーが手動で操作に 介入して運転を継続する。

■レベル4自動運転で運行する区間



自動運転レベル4での走行中は車両の前方, 左横, 後方にある表示機に「自動運行中」と表示されます。



自動
運行中

東京大学
シャトルバス

レベル4で走るとき

自動運転バス実証実験中
東京大学 シャトルバス

レベル2で走るとき

ご乗車に際してのお願い

- ・ バスが走行しているときは、必ず着席し、車内を移動しないでください。
- ・ バスの走行中は運転手に話しかけないようお願いいたします。
- ・ 状況により強めのブレーキが生じる場合もありますのでご注意ください。

レベル4自動運転バスは、2021-2025年度経済産業省・国土交通省事業 RoAD to the L4 プロジェクトのテーマ4(通称:Cool4)で開発され、現在は柏ITS推進協議会を実施主体にして運行しています。



← 柏ITS推進協議会
ホームページ

Cool4コンソーシアム

- ・ 国立大学法人 東京大学
- ・ 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学
- ・ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- ・ 株式会社三菱総合研究所
- ・ 一般財団法人 日本自動車研究所
- ・ 先進モビリティ株式会社

